

平成27年8月9日
今週のベストショット



青松園B 塩浜ジャガーズ 対 奈多フェニックス戦

大量19得点の口火を切る先頭打者HRなど切り込み隊長ぶりを発揮した奈多フェニックス一番西藤選手。

写真：三苫ホーネッツ 永島貴文

雁ノ巣軟式3 三回まで互角の展開も、終盤パイレーツが押切り勝利を掴む。

新町パイレーツ（5勝3敗）02046 12 牟田○-桐島 HR：八坂（新町パ）

ブルーマーリンズ（8敗）01000 1 林●-横山（健）

ブルーマーリンズの林投手は、初回パイレーツを三者凡退に打ち取り、上々の立ち上がりを見せた。その裏、初勝利が欲しいBマーリンズは、一番横山祥朗選手がセンター前ヒットを放つ。続く二番息子の横山健介選手は前の試合でHRを放っていたが、ここはバントを選択するも打球が自らに当たりアウト。更にWプレーでチャンスを潰す。二回表パイレーツは、四番白岩選手がセンター前で出塁しWPで二進すると、四球を挟んでセカンドの野選、八番岩本選手のサードグラブをかすめる打球の間に先制。更に九番砂田選手の左前適時打で2点目。二回裏Bマーリンズは先頭の末松選手のセーフティバントを牟田投手がもたつく間に出塁。しかし、またも送りバントが決まらず、二死となるもエラーと四球で満塁。ここで一番横山（祥）選手がセンター前タイムリーで1点を返す。2-1で迎えた四回表パイレーツは、九番砂田選手が二打席連続タイムリーの後、二番八坂選手が右越え3ランを放ち一気に試合を決めにかかる。続く五回表に白岩選手の四球の後、五番佐々木選手から二番八坂選手まで怒濤の七連続単打に三番牟田選手の犠飛で計6点を奪い、12-1でパイレーツが勝利した。送りバントをことごとく失敗する拙攻で両チーム共に波に乗れなかったが、パイレーツ九番砂田選手の連続タイムリーが流れを引き寄せた。その砂田選手の代打・中島孝志選手はヒットを放ち、代わってレフトに入るや、三度の守備機会に恵まれるなど、終盤の注目を集めた。（記事・写真：レッドサンデーズ 八島久徳）



ブルーマーリンズ先発の林投手。



一回表、横山健介捕手ナイスフィールドイング！



パイレーツ先発の牟田投手。



一回裏、ショートゴロを軽快にさばく八坂遊撃手。



二回表、パイレーツ四番白岩選手のセンター前ヒット。



二回表、パイレーツ九番砂田選手のタイムリー。



Bマーリンズ五番末松選手のバントがエラーを誘う。



息子の前でタイムリーを放つ父・横山祥朗選手。



三回表、バントフライをWプレーに取る横山一塁手。



四回表、右越えHRを放つパイレーツ八坂選手。



HRの八坂選手を出迎えるパイレーツベンチ。



センターの後逸で長駆ホームインのパイレーツ岩本選手。



WSL会計担当で頑張る中島孝志選手は代打でヒットを放った。



最終回、三度の守備機会に二つ捌いた中島選手。あと一つは・・・(笑)

奈多グラウンド チャンスを確実に得点に変えたウインズが勝利！

三苦フレンズ（2勝5敗） 1 0 1 2 1 5 生野(拓)●ー佐藤

新町ウインズ（7勝2敗） 2 1 6 0 1 10 藤田○ー今林

HR：佐藤(三苦フ) 藤田、長岡(新町ウ) 2BH：佐藤(三苦フ) 野中(新町ウ) 盗塁：泉(晴)(新町ウ)

先発はウインズ藤田投手、フレンズ生野(拓)投手で試合は始まった。初回ウインズ藤田投手は制球が定まらず四死球で無死満塁とするとフレンズ四番山口選手の時にWPでフレンズが1点を先制。しかしその後藤田投手が立ち直り、雄叫びを挙げながらフレンズ打者を三者連続三振に抑える。その裏、ウインズは二死から三番今林選手が四球で出塁すると四番藤田選手がライナーでセンター横を抜ける2ランHRを放ち逆転。二回裏、ウインズは一番長岡選手が目覚めるようなライト上の土手にある車を直撃するソロHRを放つ。三回表何とか追いつきたいフレンズは一番生野(拓)選手がレフト前ヒットで出塁すると三番佐藤選手が右中間へのタイムリー二塁打で1点差とする。三回裏ウインズは六番松岡選手が四球で出塁すると大久保選手が送りバンドがFC(野選)となり一死一二塁。そして八番野中選手が右中間を超える二塁打で1点を追加。その後2つのエラーと三番今林選手のタイムリーヒットなど猛攻で一挙6点を追加。何とかしたいフレンズは四回表二死ランナー無しから八番御手洗選手が四球で出塁すると九番田中選手がライト前ヒットで二死一二塁。ここで一番生野(拓)選手が二塁手グラブを弾くヒットを放ち2点を返し、尚二死三塁とするが後が続かなかった。五回表フレンズは先頭の三番佐藤選手が左中間を抜けるHRを放ち追い上げを図る。が、ここも後が続かず1点止まりとなり追いつくことができない。その裏ウインズはWPで更に1点を挙げたところで時間切れ。チャンスを確実に得点に結びつけたウインズ打線は素晴らしかった。(記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則、八尋豊)



新町ウインズ先発の藤田投手。



三苦フレンズ先発の生野拓磨投手。



一回裏、二盗を試みるウインズ長岡選手。



一回裏、逆転2ランの藤田選手を迎えるウインズベンチ。



二回裏、ライトフライを捕球するフレンズ寺山選手。



二回裏、車直撃のHRを放つウインズ長岡選手。



三回表、レフト前ヒットを放つフレンズ生野(拓)選手。



右中間へ適時二塁打を放つフレンズ佐藤選手。



右中間を大きく破る適時二塁打を放つ野中選手。



2点適時打を放つウインズ今林選手。



四回表、ライト前ヒットを放つフレンズ田中選手。



タイムリーヒットでホームインする御手洗選手。



五回表、左中間HRでホームを突くフレンズ佐藤選手。



HRを放ち活躍したウインズ藤田選手と長岡選手。

青松園A 鮮やか！サンデーズ田中選手2打席連続ホームラン。

三苦三球会 (6勝3敗) 010100 2 吉留●-藤澤

奈多サンデーズ (5勝2敗2分) 20300X 5 塚本○-土田

HR: 田中(俊) 2 (奈多サ) 盗塁: 川上(奈多サ) 堺(太) (三球会)

三苦三球会は一回表先頭の藤澤選手は叩きつけるバッティングで三塁手の頭を越えるゴロで出塁。続く堺(達)選手の送りバンドで二塁に進み先制のチャンスを作るも後続がなく無得点。対する奈多サンデーズは一死後、二番野田選手が内野安打で出塁すると、四番田中(俊)選手は内角の球を狙い済ましたように振り切り、あつとい

う間にライトを越えるHRで2点先制。三球会は二回表、二死から七番渡辺選手がライト前にヒットを放ち、相手のエラーで三塁に進むと八番原口選手の内野安打で1点を返す。サンデーズは三回裏一死後、一番川上選手がレフト前ヒットで出塁、すかさず盗塁を試み相手のエラーで三塁に。続く野田選手の内野ゴロの間に1点追加。さらに続く三番秋山選手がレフト前ヒットで出塁すると、四番田中（俊）選手はなんと二打席連続のライト越えHRを放ち1-5とする。なんとか追いつきたい三球会は四回表、二死後塚（太）選手がヒットで出塁するとすかさず盗塁。続く渡辺選手のライト前ヒットで生還し1点を返す。さらに六回表に一死一、二塁のチャンスを作るも反撃はここまで。サンデーズ塚本投手に後続を絶たれゲームセット。サンデーズは四番田中（俊）選手の2発で三球会を撃沈した。（写真、記事 ソルトベイスターズ田中裕次郎）



完投勝利の奈多サンデーズ塚本投手。



三球会先発の吉留投手。



一回表、三球会先頭藤澤選手の当りが三塁手を越える。



一回表バンド処理をするサンデーズ川上三塁手。



一回裏、レフトライナーを好捕する三球会船橋左翼手。



一回裏難しいバウンドは・・・内野安打となる。



一回裏、矢のような先制2ランを放った田中俊弘選手。



堅実にゴロを捌く三球会堺達也三塁手。



三回表、いい当たりもサードライナーとなる三球会堺達也選手。



三回表、難しいゴロを処理するサンデーズ秋山遊撃手。



三回裏、2本目のHRを放つサンデーズ田中俊弘選手。



三回裏セカンドゴロを必死にトスする三球会渡辺二塁手。



三回裏、ファーストゴロを捌く三球会堺和彦一塁手。



三回裏、強烈なレフト前を放つサンデーズ川上選手。



三回裏、三遊間のゴロに食らい付く三球会大津遊撃手。



三回裏、難しいゴロを好捕する三球会堺和彦一塁手。



四回表、果敢に盗塁で反撃する三球会堺太一選手。



三球会渡辺選手の右前適時打で生還する堺太一選手。



五回表、一二塁間のゴロを好捕するサンデーズ宮口ニ塁手。



六回表、ライトライナーは切れていくので・・・。



六回表、フライを前進して好捕するサンデーズ野々下左翼手。



今日は何かと忙しかったサンデーズ鳥羽右翼手。

青松園B 奈多フェニックス豪打で快勝！

塩浜ジャガーズ (2勝7敗) 00000 0 内田●、道喜－橋村
奈多フェニックス (4勝1敗2分) 50104× 19 今林(勇)○－実延(新)

HR：西藤、今林(勇)、今林(英)、高橋2(奈多フ)

2BH：安藤、実延(彰)2、西藤、能丸、実延(新)(奈多フ)

一回裏、奈多フェニックスの攻撃は一番西藤選手が左越えの先頭打者HRで先取点を挙げると、続く二番福島選手の安打、三番今林勇太選手の2ランHR、四番安藤選手の二塁打と打線が繋がり、その後の攻撃でも得点を重ね、初回到5点を先制。二回の攻防は、両チームとも安打で塁に出るものの、好守等もあり無得点。しかし、試合が落ち着いたかに思えた三回裏、フェニックス七番今林英二選手、八番高橋選手の二者連続左越え本塁打で再び打線が奮起し、この回だけで3本塁打を含む8安打等で大量10得点を上げた。しかも高橋選手はこの回二打席連続本塁打と大当たりであった。さらに、四回裏もフェニックスは連打でダメ押しの4点を追加し、終わってみれば0対19でフェニックスの大勝であった。この試合、フェニックスは先発全員安打と代打陣の安打も含め20安打で19得点と、打線の繋がりと破壊力の凄さを魅せた試合であった。

(記事・写真：三苦ホーネッツ 永島貴文)



一回裏、先頭打者HRのフェニックス西藤選手。



完封勝利を飾ったフェニックス今林勇太投手。



好守を魅せる塩浜ジャガーズ内田投手。



堅守の奈多フェニックス守備陣。



豪快なフルスイングの奈多フェニックス実延彰洋選手。



強烈な当たりを放つ奈多フェニックス実延新新伍選手。



力投する奈多フェニックス今林勇太投手。



五回表、中前安打の塩浜ジャガーズ橋村選手。

第15週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第15週、8月9日は4試合が行われました。

雁ノ巣軟式3の新町パイレーツ対ブルーマーリンズ戦は、どちらもことごとくバントをミスして、流れを掴むための次の一步を踏み外すような試合展開。地力に勝るパイレーツが終盤の連打などで12-1と結果的に圧勝だった。しかし、ランナーを置いて、あわよくば自らもセーフになるセーフティバントは決まればチャンス拡大だが、今回はチャンス縮小にしか見えなかった。

パイレーツで活躍した九番砂田選手に代わり最終回に出場した中島選手はタイムリーに守備にと活躍。彼は今年度のWSL会計でも活躍していますので、皆さん支払いはきちりお願いします。しかし、写真を見る限り、膝神ちっくに見えるのは私だけでしょうか？

奈多グラウンドの三苦フレンズ対新町ウインズ戦は、一回表無死満塁からWPで1点献上したウインズ藤田選手のエンジンがかかり、三者三振に打ち取ると、その裏自らのバットで2ランを放ち逆転。その後も攻撃の手を緩めないウインズ打線は計6安打ながら四死球に乗じて10得点。フレンズもこまめに得点するも5-10でウインズの勝利。藤田選手は打撃部門で、HR4本、13打点と現在2冠。

青松園Aの三苦三球会对奈多サンデーズ戦は、初回、三回裏にサンデーズ四番田中俊弘選手の2本の2ランで勝負を決めた。更に田中選手は最終回にも二塁打を放ち、全得点に絡む3打数3安打2HR4打点3得点と打撃

でエンジンがかかってきた。投げては塚本投手が7安打されるも三球会打線を2点に抑え、2-5で奈多サンデーズの勝利。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対奈多フェニックス戦は、初回から2HRとフェニックス打線が大爆発。三回裏にはフェニックス八番高橋選手の1イニング2HRを含む10得点。一方ジャガーズ打線はフェニックス今林勇太投手に4安打に抑えられ、0-19でフェニックスの圧勝。隣のA球場で見ていた奈多サンデーズの選手からも「あの打線は反則やろ」と感嘆の息が漏れていた。

甲子園では二人のスラッガーが注目を集めています。

一人は、ラグビーの早稲田大学、日本代表の選手として、また早稲田大学、サントリー、ヤマハ発動機監督としても活躍した清宮克幸氏を父に持つ早稲田実業1年の清宮幸太郎選手。

もう一人はプロ野球巨人で活躍した山本功児氏を父に持つ九州国際大附属3年の山本武白志選手だ。

熱闘甲子園で古田敦也氏曰く、

「山本武白志選手は、HR狙いのため、フライアウトが多く、HRの打ち損じがヒットになる。」

一方、

「清宮幸太郎選手は、強いライナーを打とうとしているため、ヒットの延長がHRになる。」

タイプの違う二人のスラッガー対決が、8月17日(月)第1試合に組まれた。

朝から満員必至の甲子園はベスト8が出揃った。

第1試合：早稲田実(西東京) - 九州国際大付(福岡)

第2試合：花咲徳栄(埼玉) - 東海大相模(神奈川)

第3試合：秋田商(秋田) - 仙台育英(宮城)

第4試合：興南(沖縄) - 関東一(東東京)

一番面白いベスト8を明日に控え、ますます熱気を帯びる甲子園。

来週の今頃は優勝校が決まっていますね。

どこが栄冠を掴むのか？

また、WSLの栄冠はどこが掴むのか？

負けられない戦いがそこにある！